

2004年3月6日

メタ超心理学研究会（於明治大学）

報告

「トランスパーソナル心理学と超心理学の接点」

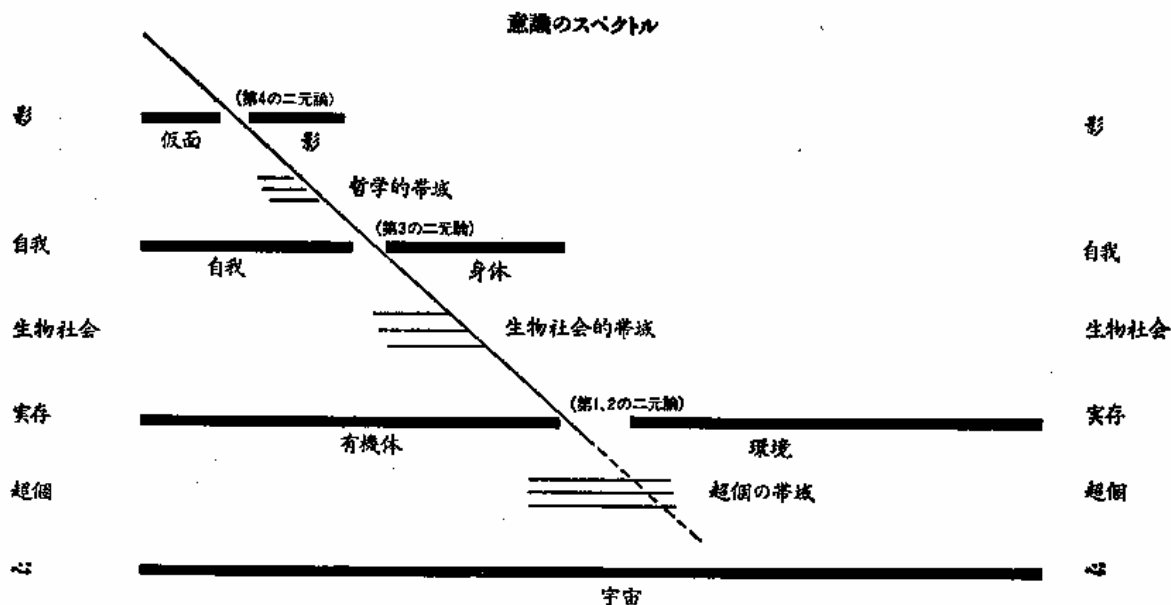
田中彰吾（昭和学院短期大学，心理学／哲学，shogo@valdes.titech.ac.jp）

<トランスパーソナル心理学の概要 超心理学との対話のために>

- ・ トランスパーソナル心理学 = 1960年代末に起こってきた心理学/心理療法の潮流... A・マズロー「心理学の第四勢力」
人間性心理学の発展形...自己実現だけでなく「自己超越」までを射程に収める心理学
アメリカ社会のポストモダン化の流れの中から出現した学派であり、欧米社会の近代化過程の中から出現した超心理学とは歴史的背景が異なる
- ・ 自己超越 = 「個を超える」ということ
トランスパーソナルの文脈で言う「個」とはいわゆる「自我」(わたし)のことを指す
自我意識に限定された「わたし」を超えるさまざまな意識の体験を総括して「トランスパーソナル」と呼ぶ (ex. 「宇宙意識」「至高体験」「神秘体験」「宗教的回心」等)
R・ウォルシュとF・ヴォーンによるトランスパーソナル体験の定義
自己やアイデンティティの感覚が、個人的なものを超えて、人類、生命、精神、宇宙のより広い諸側面を含むものへと広がる体験 (Walsh and Vaughan, 1993)
- ・ トランスパーソナル心理学の研究風土
研究者自身が何らかの技法 (心理療法、瞑想、身体技法など) の実践家でもある
個別の実践における探求の成果を、公共的な合意にまで高めることが目標とされている
客観性と実証主義にもとづく知 (狭義の科学) という側面よりも、間主観性と経験主義に基づく知という側面のほうが強い (この点が超心理学とは異なる)

< K・ウィルバー「意識のスペクトル」モデルから見た超心理現象 >

- ・ トランスパーソナル心理学の代表的理論家 K・ウィルバーの意識モデル
ウィルバーは下の図のような「意識のスペクトル」モデルを提示している
日常的な状態では、意識は自我レベル、または仮面 - 影のレベルに同一化しているが、実存レベル、超個 (トランスパーソナル) レベル、心 (MIND) のレベルと下降していくにつれて、アイデンティティの感覚は広がってゆく



意識が超個的帯域（Transpersonal Band）に同一化している時、さまざまな超心理現象が発生すると言われる（超個的帯域では、意識が身体全体にまで広がった実存のレベルと、意識が宇宙全体に同一化している心のレベルとの間にあり、意識が個体を超えて広がっている）

ウィルバー『意識のスペクトル [2]:意識の深化』（p.128）

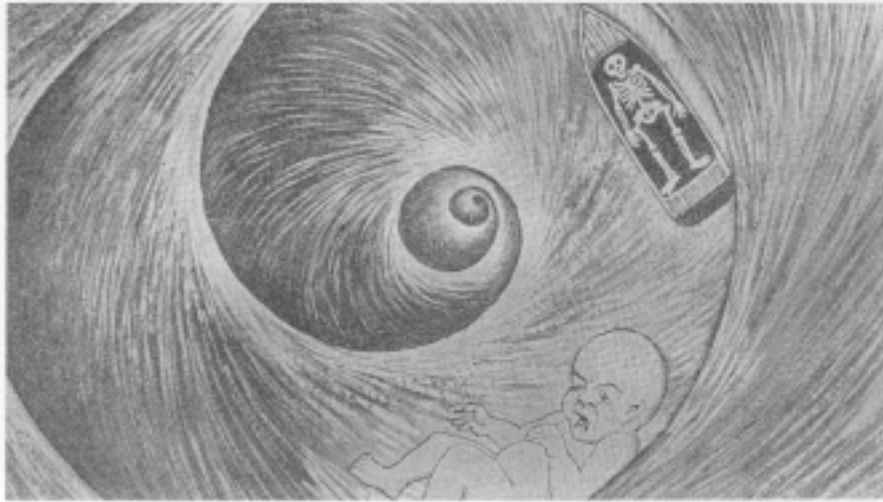
実存のレベルと心のレベルの間に、もっとも神秘的で誤解されやすく、一般に恐怖や当惑をもって受け止められる未踏のスペクトルの領域が横たわっている。超個の帯域である。この帯域は「魂の闇夜」として体験されることもあれば、阿弥陀如来の無量寿光として体験されることもある。ここで人は、菩薩や天使のヴィジョンと出会うこともあれば、無数のマール、すなわち元型的な悪魔に囁きかけられる場合もある。「内なる案内人」を発見したり、この識域に住む恐ろしい住人の手に落ちたりするのもここである。アイデンティティが身体の外へと移行することもあれば、アストラル旅行に連れ去られることでもある。ESP、透視、透聴といった超常現象（本当に存在するとしての話だが）が起こったり、「過去生」を再体験したり、未来の出来事に自らを投影したりするのもここである。もし、あいまいな領域が存在するとしたら、それはこの超個の帯域をおいてほかにない。

< S・グロフ「意識の作図学」から見た超心理現象 >

- ・ S・グロフは、LSDおよびホロトロピック・ブリージングの臨床研究に基づき、「意識の作図学」を提唱
 - ・ LSDやブリージングによって誘発される変性意識状態に接近する際、個人は、以下のようない連の「死と再生」のプロセスをたどる（日常的な意識を支えている自我が一時的に死を向かえ、トランスパーソナルな領域へと参入する）

意識の作図学

レベル	力学	特徴
感覚的障壁	抽象的で、深い象徴的意味をもたない	特定できない知覚体験 ——感覚中心
回顧的 - 自伝的領域	COEX システム (凝縮体験系)	自伝的 - 個人に限定
分娩前後の領域	BPM (基本的分娩前後のマトリックス)	個人と超個人の境界面 ——誕生と死との深い結びつき
トランスパーソナルな領域	ここでもCOEXシステムやBPMに対応する一般原理が働いている	個人と宇宙とのつながり



分娩前後の領域で体験されたヴィジョンの一例



トランスパーソナルな領域で体験されたヴィジョンの一例

ウィルバーのモデル同様、意識のトランスパーソナルな領域で超心理現象が発生するとされる（トランスパーソナルな領域は、個体を超えて広がる一種の意識の場であり、時間・空間というカテゴリーを超越している）

グロフ『脳を超えて』（pp172-174）

トランスパーソナルな体験には、物質主義的科学と機械論的世界観のもっとも基本的な諸仮定を揺るがす数多くの奇妙な特徴がある。これらの体験は深層の個的自己探求のプロセスで起こるものであるが、それを伝統的な意味での精神内現象と解釈することはできない。それらは一方では自伝的体験や分娩前後の体験と一つの体験的連続体を形成し、他方では伝統的な個人の範囲の定義を明らかに超える情報源に、感覚器官の介入なしで直接ふれる。そこには他人、異種、植物、無機的要素、器具なしでは接近のできない微視的・天文学的領域、歴史と有史前、未来、遠隔地、他の存在の次元の意識体験が含まれる。

同上（p.175）

...ときに、遊行がさらに先まで進み、祖先の生活の記憶を再体験したり、民族的・集合的無意識にふれたという否定しがたい感覚を抱くこともある。また、たまにLSDの被験者が進化の系統を遡り、人類の祖先のさまざまな動物と同一化する体験を報告したり、前世の出来事を再体験しているという強い感覚を抱くこともある。

<トランスパーソナル心理学と超心理学のあいだで対話が可能な論点>

- ・ 種々の PSI 現象は、意識がトランスパーソナルな領域にアクセスする際に、自然発生的に生じてくるもの
宗教的な修行の文脈では、修行の過程が進行するにつれて遠隔視やテレパシー的な体験が生じる場合があることは広く知られていた（仏教の六神通、修験道の験力など）
意識のトランスパーソナルな領域の解明が進めば、トランスパーソナル心理学と超心理学の対話は促進される
トランスパーソナル体験を病理に還元する近代精神医学のモデルを離れて、「異常 - 正常 - 超正常」として再編する必要がある（トランスパーソナル心理学では、この問題は「前ノ超の虚偽」という論点として提示されてきた）
- ・ 両心理学に哲学的基盤を与えるため、時間論と空間論の再編という課題が生じる
時間も空間も、常識的には客観的な世界の側の属性として考えられているが、PSI 現象やトランスパーソナル体験を視野に入れると、時間・空間はともに一定の意識状態の属性として考え直す必要がある（意識レベルに応じて、体験される時間性・空間性は変容する）
- ・ 心の概念を拡大する必要性
心は、個体の内面に閉じた箱のようなモデルによっては把握できない。個体を超えて、また「いま・ここ」という時間的・空間的制約を超えて広がっている一種のフィールドとして構想される必要がある

<開かれた^{スピリチュアリティ}霊性の探求に向けて>

- ・ トランスパーソナル心理学の研究は、心理療法の実践とつねにセットになって発展してきており、現代に生きる人々の苦しみにどう対処するのか、という問題意識とは不可分のもの。自我への固執（我執）を離れ、トランスパーソナルな体験に開かれる際にもたらされる治癒力に着目する傾向が強い。
- ・ 超心理学は、歴史的には心靈研究の延長線上に登場したものであり、靈魂の死後存続の可能性を探る、という課題をもともと持っていた。PSIの実証的研究に移ってからこの点は括弧に入れられたが、現代では前世や来世（輪廻転生）への関心が再び高まっている。
- ・ トランスパーソナル心理学も超心理学も、ともに「霊性 spirituality」を探求する学問という意味では対話が可能であるし、協力関係を築きうる。特定の宗教的な信念や信仰にしばられないかたちでの「開かれた霊性の探求」という問題意識を持つことが重要であろう。

<参考文献>

- 安藤治「トランスパーソナル学に向かって」『トランスパーソナル学』, 第一号, 一九九六年。
 「トランスパーソナル心理学/精神医学の歩みと展望」『トランスパーソナル心理学/精神医学』, 第一巻第一号, 二〇〇〇年。
- グロフ, S. 『脳を超えて』, 吉福伸逸他訳, 春秋社, 一九八八年。
- タート, C. 「超心理学とトランスパーソナル心理学」, スコットン+チネン+バティスタ編『トランスパーソナル心理学・精神医学』, 安藤治他訳, 日本評論社, 一九九九年。
- Walsh, R., Vaughan, F. On Transpersonal Definitions. *Journal of Transpersonal Psychology*, Vol.25-2, 1993.
- ウィルバー, K. 『意識のスペクトル [1][2]』, 吉福伸逸他訳, 春秋社, 一九八五年。
- 湯浅泰雄「霊性問題の歴史と現在」湯浅泰雄監修『スピリチュアリティの現在』, 人文書院, 二〇〇三年。